

佐世保市立三川内中学校

令和4年度

「特色ある学校づくり推進会」活動報告

1 テーマと目標

令和4年度テーマ

三川内PRIDE

～自分とその周りを生かす力を持とう～

生徒の自主性を育てる
環境づくり

地域の特色を生かした
地域学習

自分自身をより生かす
ためのキャリア教育

生徒の「想像力と創造力」を高め、
自分の可能性を信じ、自ら学び、自
ら鍛える力を育てることを目的とする

2 実践内容の紹介

5月 陶芸活動（全学年） 	5月 作陶作業（全学年） 	8月 火入れ式（全学年） 
9月 職場体験学習（2年生） 	10月 マナー講座（3年生） 	11月コスモスさんぽ参加（全学年） 
11月コスモスさんぽ参加（全学年） 	1月 立志式（2年生） 	2月性教育デートDV（3学年） 

3 活動の成果

○「地域の特性を生かした地域学習」

今年度はまず、全校オリエンテーションを行い、陶芸活動の基本的な流れを理解させた。その後、美術の授業を使って個人作品のデッサンを行い、それぞれに計画を立てさせた。6月から地元の窯元の方を講師として来てもらい、ろくろやその他の道具の使い方の指導や成型のための技術指導をしていただいた。8月には全校生徒が参加する計画を立て、校内の蛇窯を使用し、3日間の窯焼成に取り組んだ。PTAの協力のもと、地域の人と交流を深めながら地域の伝統文化を学んだ。

作り上げた作品のどちらかを子ども県展に出品し、今年度、立体の部で学校優良賞を受賞し、また、個人の部でも多数の生徒が特選に選ばれた。

11月には「みかわちコスモス散歩」という地域のイベントに参加し、自分たちの作品を展示販売することで接客することの難しさ、自分たちが作り上げたものが売れる喜びを味わわせることができた。

○「生徒の自主性を育てる環境づくり」

本校の伝統であるが三川内駅から本校に続く道は「あいさつロード」として生徒はどなたでも、知らない人の車でも立ち止まってあいさつするように引き継がれている。今年度も生徒会を中心として朝、あいさつ運動を行った。昨年の反省をもとにあいさつ運動の時間を10分早め、生徒会執行部、生活部が取り組んだ。また、今年は新たに職員も朝から、あいさつロードを逆に歩きながら生徒の登校の様子を確認するようにした。成果としては、生徒は誰かが見ていなくてもしっかりとあいさつができており、外部の方からお褒めの電話や直々に来校され、お褒めの言葉をいただくことが4件ほどあった。さらに、職員と一緒に郊外に出ることによって地域の方との触れ合いができ、地域の方が今まで以上に中学生に関心を持って言葉かけをいただく場面が増えたと感じている。おかげで生徒の自主性も向上している。

○「これからの自分自身をより生かすためのキャリア教育」

今年度はコロナも以前よりは収まってきていたこともあり、1年生は「職業講話」、2年生は「職場体験学習」、3年生は「福祉体験」とそれぞれの学年でキャリア教育を実施できた。また、3学年を共通して「マナーアップ講座」として企業の方から社会人としての心構え等の講習を受けることができた。この体験を通して将来の進路や生き方に対する考えを深めたり、夢やあこがれを育んだりすることができた。

本校では、例年第2学年で立志式を実施しており、今年もコロナ禍の中で若干の規模を縮小した形であったが1年生、2年生の保護者、PTAの参加のもと、無事に実施することができた。生徒は、焼きあがったその絵皿を一人一人が壇上に立ち、それぞれが「決意の言葉」の発表を行った。また、学級でこの日のために練習した合唱を披露して式を終えた。生徒はこの行事を通して自立への意識を高め、精神的に大きく成長した姿を見せることができた。